

小児へのエキス剤 お母さんの愛情で

Q 三歳、女子。体重一二kg。体が弱いので漢方薬で体質改善をさせたいと思い、診療所からエキス剤をもらいました。一日の分量が四g(二三回分)と多いのですが、大丈夫でしょうか。いつごろ効果があるかわれるでしょうか。また、子供に上手に飲ませる方法がありますか。

A 漢方エキス剤は、漢方薬を煎(せん)じたものをフリーズドライ加工して、細粒や顆粒(かりゆう)にしたものである。乳糖など賦形剤(ふけいざい)で形をつくるため、みかけ上分量が増える。成人の分量は通常一日量六〜七・五gであり、小児量はこれを体重で換算して決める。

質問者の場合、黄耆建中湯(おうぎけんちゅう)

うとう)というエキスが出されている。この処方では麦芽で米を発酵させて作った膠飴(こうい)という滋養強壮作用のあるアメが含まれており、分量がさらに増える。一般に成人一日量は一八gぐらいで、質問者の四gは決して多くない。

小児の場合、効果が比較的短期間に現れることが多い。通常は数カ月うちに「かぜをひかなくなった」「おなか大丈夫になった」などと喜ばれる。

エキス剤はお湯で溶かして飲ませるのが原則。夏ならシャーベットに、冬はゼリーにするのも一つの方法である。満一歳以上ならはちみつを入れてもよい。上手に飲ませる秘けつはお母さんの理解と愛情。「よく飲めたね」といった褒美にまさるものはない。